

2023 年 6 月 14 日(水)

金魚が彩るミュージアム

梅雨入りとなり、紫陽花のからグラデーションが綺麗な季節になりました。銀座三越 8 階には金魚が主役のミュージアム：アートアクアリウムミュージアム GINZA があり、丁度オープンして 1 周年を迎え、6 月 27 日までの期間限定で『紫陽花づくし』*をテーマに多彩な色と模様の金魚と紫陽花が艶やかで美しい世界を演じています。

ここでは日本国内で品種認定されている 34 種のほか多数の金魚が独創的な形の水槽を泳ぎ、照明と音楽と香りが幻想的な空間を創り出しています。9 つあるエリアは季節に応じてデザインを変えるそうです。

金魚 *Carassius Auratus* と言えば、縁日の「金魚すくい」を思い浮かべますが、そもそも金魚のルーツは今から約 1700 年前に中国南部の長江で発見されたフナの突然変異から生み出されたもので、室町時代末期の 1502

年に日本に伝わったそうです。金魚と言えば「赤色」をイメージしますが、もともとは金色だったそうで、それが名の由来とされています。その後、泰平の世となった江戸時代の中頃には、武士のサイドビジネスとして金魚販売が広まったと言われ、やがて江戸の町で一大ブームを巻き起こしたとされています。現在、全国では奈良県大和郡山市、愛知県の弥富市、埼玉県加須市など三大産地として知られていますが、加須市で養殖が始まる前は江戸川で金魚養殖が盛んに行われた歴史があり、今でも毎年夏にはいろいろな企画が開催されています。梅雨を彩る紫陽花と金魚の組み合わせ、アートミュージアムにもぜひ足を運んでみてください。



*中学・高校時代、「金魚」という苗字の後輩がいた。かつてNHK テレビ番組『日本人のおなまえ』に出演し、全国で 10 人しかいない名だと言っていた。

校長 石飛 一吉